



新小山市市民病院ニュースレター

Shin-oyama City Hospital News letter

Vol.33

1 副院長挨拶 ～ 新型コロナウイルスとスペインかぜ ～

かつてスペインかぜが世界的に流行したことは多くの方がご存知のことと思います。Wikipediaで調べてみると、今から約100年前（1918年～1920年）に流行したインフルエンザの通称で、全世界で5億人（世界人口の約27%）が感染し、死者は1億人を超えていたと言われています。

当時は第一次世界大戦中であり、報道統制から感染流行が公にならず、中立国であったスペインから流行の情報発信がなされたことでスペイン風邪の名称が付いたようですが、実際には地理的流行源は特定できていないようです。スペインかぜも新型コロナ同様に変異ウイルス出現に伴う感染拡大があり、特に第2波では健康な25歳～35歳の若年者層において非常に高い致死性を示し、アメリカの集計では、死者数の約半数が20歳～40歳の間であったとされています。日本におけるスペインかぜの感染者数は2,380万人（人口比：約43%）、死者数39万人とのことで、現在流行中の新型コロナウイルスが、2021年5月4日時点で感染者数約60万人、死者数1.0万人ですから、スペインかぜがいかに猛威を振るったか想像に難くありません。

また、日本におけるスペインかぜは、第1波が最大の感染者数で第2波、第3波へと進むに従って患者数は明らかに減少していますが、現在の新型コロナウイルス感染は、波が来る度に大きくなり、また、次々と変異ウイルスが出現し、感染者が若年層へと広がっている状況を考えると、どこまで感染が拡大するのか予想が付きません。ワクチン接種が始まったとは言え、変異ウイルスのためワクチンの効果を受けないなどの事態も予想されます。

ヒトの免疫応答は今も昔も変わらないでしょうから、新興感染症が発生した場合、ある程度拡大するのは防ぎようがありませんが、予防策や対抗処置は100年前とは違うはずです。コロナ疲れ、コロナ慣れと言う人がいますが、十分に収束するまで感染対策に気を緩めてはなりません。スペインかぜ流行当時の写真を見ると、今と同じく皆がマスクをしています。マスクをしなくても安心して会話ができる時代に早く戻ることを願うばかりです。

令和 3年 6月 新小山市市民病院 副院長・消化器内科部長 田野 茂夫

2 TOPICS 「基幹型臨床研修病院」に指定となりました！

このたび、栃木県より県内11病院目の「基幹型臨床研修病院」に指定されました。これに伴い今年度より初期臨床研修医の募集を開始し、来年度より受入れを開始することとなります。当院は、これまでも自治医科大学附属病院の協力施設として、初期研修医教育の一端を担って参りましたが、今般の基幹型の指定により、自前で研修医の育成を行うことが可能となります。

急性期中核病院の責務として、将来の小山地区の医療を担う優れた医師を育てていく所存でございますので、皆様におかれましては、引き続きご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

なお、本件（当院の基幹型臨床研修病院の指定）につきまして、関係者の皆様にご周知いただくとともに、もし近しい方で該当者（医学部学生）がおられましたら、是非ご推奨くださいますよう、併せてお願いいたします。



目次:

副院長挨拶	1
新任医師紹介	2
新任医師紹介	3
お知らせ	4

ハイライト

- 基幹型臨床研修病院に指定されました！
- 3、4月に新任医師が入職いたしましたのでご紹介させていただきます。
- 不整脈専門医研修施設に認定され、心不全療養指導認定試験に合格しました！
- 患者支援センターからは、紹介・逆紹介率の報告をさせていただきます。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

ポットラック カンファレンス

偶数月、第1火曜日 19:15 ～

オンライン（Zoom）にて
開催しております。

8/3, 10/5, 12/7, 2/1

地域完結型 医療・連携の会 ～ WEB ライブセミナー ～

奇数月、第3木曜日 19:15 ～

7/15, 9/16, 11/18,
1/20, 3/17

今後も皆様のご意見をも
とに改善を行っていきます
ので、たくさんのご参加を
お待ちしております。



不整脈専門医研修 施設に認定されました！

4月1日より日本不整脈
心電学会認定の不整脈専門
医研修施設に認定されまし
た。栃木県では5番目とな
ります。他県と比較して同
専門施設が少ない状況で
す。これまでの薬での治療
以外にアブレーション治療
という選択肢が増えること
で、幅広い
不整脈診療で
地域の皆様に
貢献できるよう
努めて参ります。



合わせて日本循環器学会
で「心不全療養指導士」認
定制度を2021年度より開
始し、この度、第1回の認
定試験に当院の看護師1名
社会福祉士1名が合格いた
しました。

ドクターの紹介 3・4月採用の医師を紹介します。



血液内科
部長
多々良 礼音

令和3年3月より血液内科部長を務めております多々良 礼音（タタラ ライネ）です。現在、血液内科の立ち上げと、緩和医療チームの立ち上げを行っております。

浜松医科大学を卒業後、進路を決めきれずに自治医大に就職しました。そこで造血幹細胞移植に触れて、血液内科を専攻し移植医療に邁進してきました。しかし、徐々に自分の理想とする医療と現実に行っている治療の乖離に疑問を感じ、この度新小山市民病院にて一から自分の診療を見直し理想を追うチャレンジの機会を頂きました。

「トップレベルの安全で最適な治療を提供するとともに、患者との持続的な信頼関係と親しみやすさを大切にするオンリー・ワン ホスピタルになる」を当科のビジョンに据え、栃木県南部の血液患者に移植以外のほぼ全ての治療を提供できる、血液患者と近隣医療機関に深く信頼され相談相手となる、をミッションとして日々小山地区血液診療に貢献していきたいと考えております。



糖尿病・代謝内科
部長
出口 亜希子

令和3年4月より糖尿病代謝内科に着任しました、出口 亜希子（でぐち あきこ）と申します。

平成13年に島根医科大学を卒業後、自治医科大学で初期研修を受け、同大学内分泌代謝科に入局しました。退職後の直近6年間は、地域のクリニックで糖尿病・内分泌疾患の外来診療に従事しておりました。クリニックでの診療経験から、糖尿病診療において、患者さんと長期にわたり信頼関係を構築し、治療の成果につなげていくことの重要性を実感しております。そのため、近隣の開業医の先生方に、治療継続をご依頼させていただくことが多いと思います。よろしくお願い申し上げます。

当院では、糖尿病に加えて、多数の疾患を合併している方がとても多いので、複雑な病態を把握しつつ、個々の状態にあった診療を選択するよう心がけております。糖尿病・内分泌疾患で、地域医療のお力になれるよう邁進してまいります。



循環器内科
副部長
渡邊 裕昭

令和3年4月より新小山市民病院循環器内科に赴任いたしました渡邊 裕昭（わたなべ ひろあき）と申します。自治医科大学附属病院循環器内科に所属しており、医師16年目となります。

不整脈を専門としており、国内でも有数の不整脈ハイボリウムセンターである筑波大学附属病院（当時：青沼和隆教授のもと）で2年間、カテーテルアブレーションや不整脈植え込みデバイス（リードレスペースメーカー、ICDやCRT-Dなど）植込み、ペースメーカー感染に対する経皮的リード抜去術などを数多く経験して参りました。この経験を栃木県内でお困りの不整脈患者さんに対して遺憾なく発揮できるよう、日々邁進しております。

不整脈を中心に循環器疾患でお困りの際にはいつでもご紹介いただければと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



麻酔科
副部長
久野村 仁嗣

令和3年4月より麻酔科に着任いたしました 久野村 仁嗣（くのむら よしつぐ）と申します。

岡山県出身で高校まで岡場で過ごしました。平成20年に自治医科大学を卒業後、10年間岡山県で内科医として地域医療に従事いたしました（内2年間は後期研修生として自治医科大学麻酔科勤務）。義務年限終了後、平成30年4月より再び自治医科大学麻酔科でお世話になり、この度新小山市民病院へ着任となりました。

栃木県での生活も12年目になり、第二の故郷と考えております。手術を受けられる患者様に安心して手術を受けていただけるよう尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



飯島 彰長

令和3年4月より新小山市市民病院に赴任いたしました呼吸器内科の飯島彰長（いいじま あきなが）です。

半年間と短い赴任期間ではございますが、地域の皆様に少しでも貢献できればと考えております。

小山地区医師会の先生方には、若輩者ゆえ至らぬことも多々あるかと存じますが、何とぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



上野 航

令和3年4月より自治医科大学附属病院より新小山市市民病院消化器内科へ参りました上野 航（うえの わたる）と申します。

出身大学は福島県立医科大学ですが、父は自治医科大学の卒業生で、私自身は真岡市の出身です。

学生時代から特に肝臓に強い関心を持っておりますが、現在は消化器内科一般を広く学んでいます。新小山市市民病院では年々内視鏡検査、処置の件数も増加傾向にあるとのことで、その一翼を担えるよう頑張っています。知識と技術を地域に還元できるよう日々努めていますので、何卒よろしくお願い致します。



石井 桃

令和2年4月から自治医科大学より新小山市市民病院小児科に赴任いたしました、石井 桃（いしい もも）と申します。杏林大学医学部を卒業後、自治医科大学病院で初期研修を修了し小児科に入局させていただきました。

小児科といっても幅が広く、知らない疾患と出会うことだらけで日々勉強させていただいております。目標は少しでも病院が怖くなく、楽しい場所になるように！痛い処置、怖い検査が必要なこともあります。できる限り工夫して診療にあたりたいと思います。

小山地区のお子様、そのご家族の笑顔のお手伝いができるようがんばりますので、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



手塚 綾乃

令和3年4月から新小山市市民病院耳鼻咽喉科に赴任いたしました、手塚綾乃（てつか あやの）と申します。

自治医科大学耳鼻咽喉科の後期研修プログラムにて研修中です。

大学病院とは異なる環境で、経験を重ねていきたいと考えています。小山地区医師会の先生方には大学病院の頃よりお世話になっております。ご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



軽部 梓

令和3年4月から新小山市市民病院脳神経内科に赴任致しました、軽部 梓（かるべ あずさ）と申します。

東海大学医学部卒業後、自治医科大学附属病院で初期研修を行い、その後同院の脳神経内科に入局し、勤務をさせていただいております。今回、1年間の派遣としてこちらで勤務を行います。

神経の疾患というのは、脳、脊髄、末梢神経、はては筋肉に至るまで幅広く存在しております。脳梗塞や脳出血のように、一刻でも早く対応をしなければならぬ疾患から、神経の変性疾患のように、時間をかけて症状の経過をみる必要があるものまで、神経内科の病気は様々です。

少しでも地域の皆様のお役にたてるよう、日々努力していきたいと思っております。皆様にはご迷惑をかけることもあるかもしれませんが、何卒よろしくお願い致します。



奥村 一輝

令和3年4月より新小山市市民病院小児科に赴任いたしました奥村 一輝（おくむら いちき）と申します。

滋賀県草津市出身で、福島県立医科大学を卒業して会津医療センターで初期研修を2年行ったあと、2019年に自治医科大学小児科に入局しました。

初めの2年間は専門性の高い大学病院で高度な医療を学んできましたが、この1年間は小山市市民病院において地域に根差した小児一般診療に従事し、その中でさまざまな知識や技術を学ばせて頂きたいと思っています。病気の子どもたちやその家族、周囲の方々を笑顔にできるような医師になるべく日々研鑽を積みみたいと思っています。

小児診療全般でお困りのことがありましたらご相談いただければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

スペースの関係上、残りの先生はお名前のみとさせていただきます。



循環器内科
石橋 和世



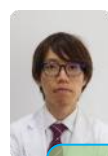
糖尿病・代謝内科
木村 多恵



神経内科
関口 和正



小児科
古賀 玲奈



外科
堀越 峻平



外科
千葉 小夜



整形外科
倉林 實

患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

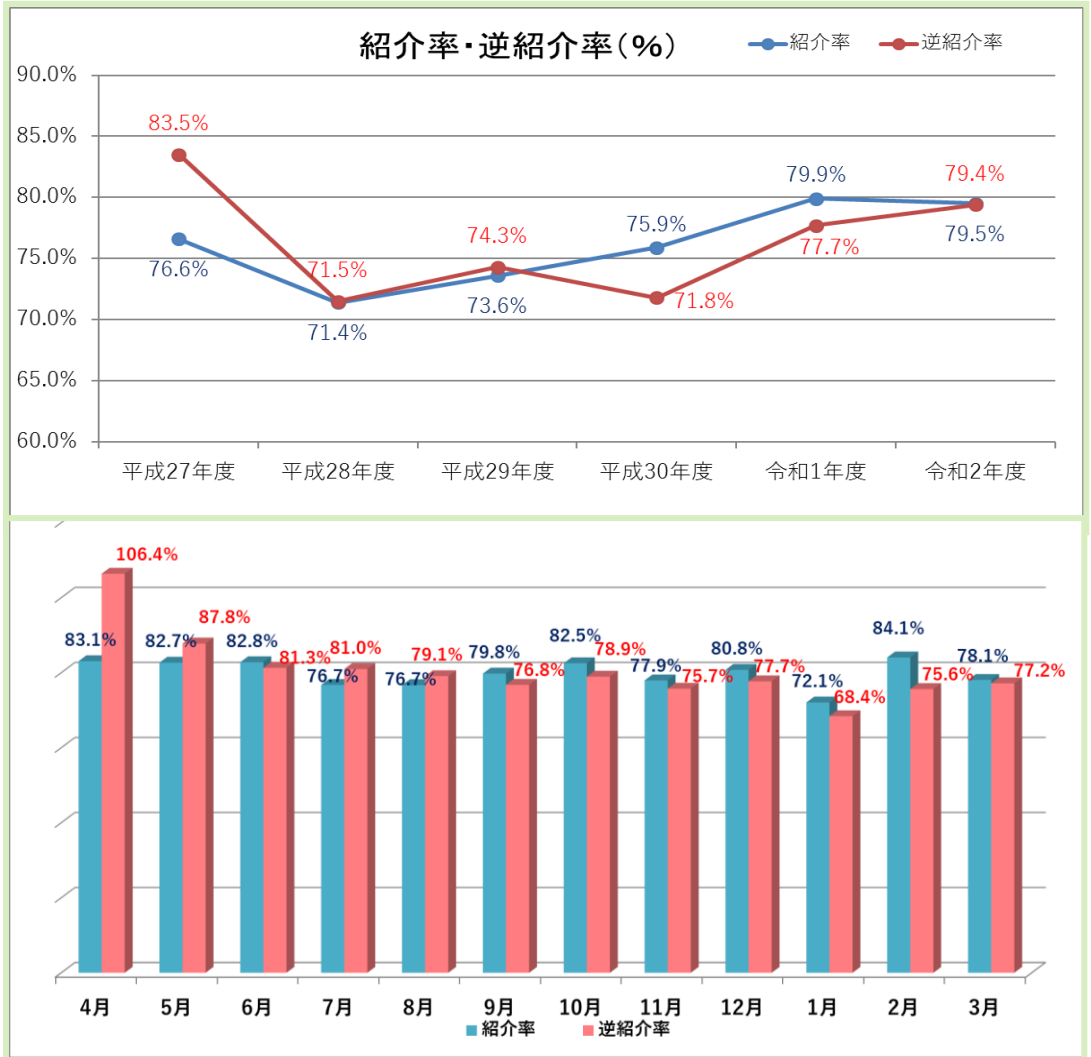
メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

患者支援センターからのお知らせ

いつも当院運営にご理解・ご協力頂きありがとうございます。



第29回地域完結型医療・連携の会WEBライブセミナー

3月18日(木)「第29回地域完結型医療・連携の会WEBライブセミナー」を新小山市民病院で行いました。

令和2年度は、コロナ禍でのセミナー開催方法を検討し、7月からWEBと会場でのハイブリッドで行い、計4回延べ106名の方に参加いただきました。ありがとうございました。

- ・日時 3月18日(木) 19:15~
- ・場所 新小山市民病院
- ・座長 大谷副院長
- ・症例報告者
 - 外科 宮崎医師
 - 泌尿器科 亀田医師
 - 循環器内科 西村医師
- ・院外参加者
 - WEB 22名、会場 3名



各医師の症例発表後、質疑応答を行いました。会を重ねるごとに、WEBと会場参加者でのやり取りがスムーズになってきています

地方独立行政法人 新小山市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

<https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>

